



アンケート調査①

埼玉県内新卒者採用状況調

新卒者の「採用計画があった」企業は2年連続減少、採用が減

2026年度の新卒者の採用状況について、県内企業へのアンケート調査を実施した。

✓ 採用計画の有無

2026年4月入社の新卒者について、採用計画が「あった」企業の割合は前年度調査から0.3ポイント減少の46.5%となった。減少幅は微減であったものの、2年連続での減少となった。

前年度調査においては、建設業やサービス業など人手不足感の強い業種で、新卒採用から中途採用にシフトする動きがあったとみられ、新卒採用の計画が「あった」企業割合は大幅に低下した。今年度も新卒者の採

用計画が「あった」企業は50%を下回り、中途採用にシフトする動きが続いているとみられる。

業種別にみると、新卒者の採用計画が「あった」企業割合は製造業が47.7%（前年度比+2.2ポイント）、非製造業は45.6%（同▲2.0ポイント）となった。

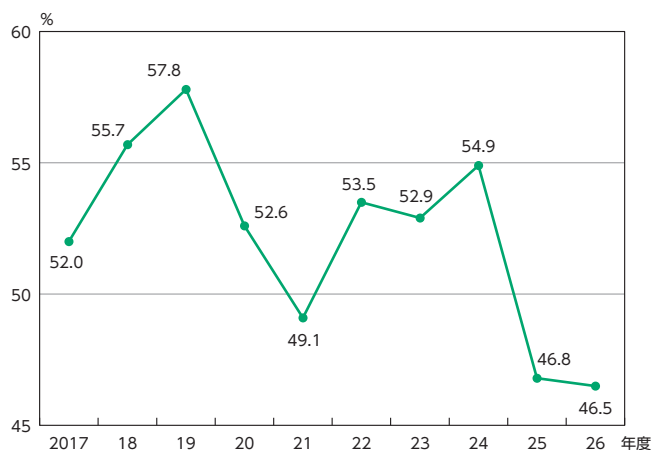
✓ 採用人数の前年度比増減

2026年4月入社の新卒者の採用人数（実績）は、前年に比べ「増加した」17.3%、「変わらない」22.2%、「減少した」16.7%となった。

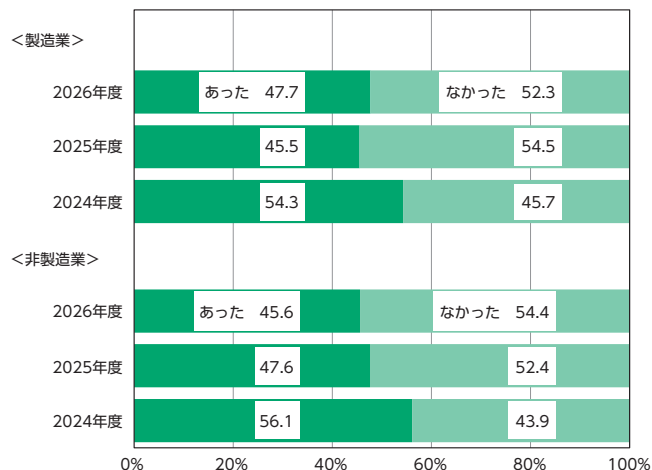
なお、「例年ない」とするところは43.8%と4割を超えており、新卒者の採用を行っていない企業も多い。

業種別にみると、製造業は「増加した」15.9%、「減少した」17.5%となり、非製造業は「増加した」18.3%、「減少した」16.1%となった。製造業では「減少した」割合が「増加した」割合を1.6ポイント上回り、非製造業では、「増加した」が「減少した」を2.2ポイント上回った。

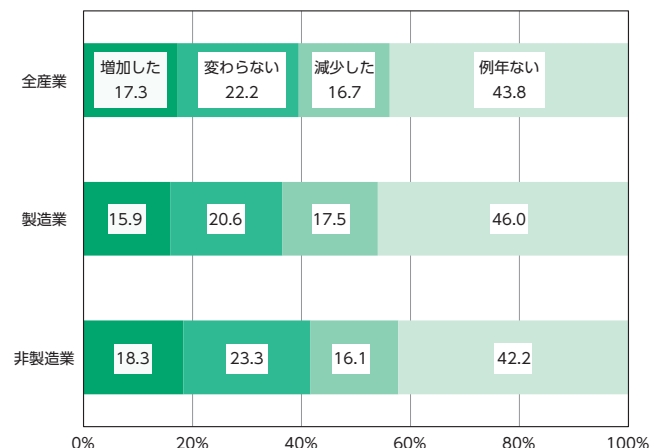
● 採用計画が「あった」企業割合の推移（全産業）



● 採用計画の有無（業種別）



● 採用人数の前年度比増減（全産業、業種別）



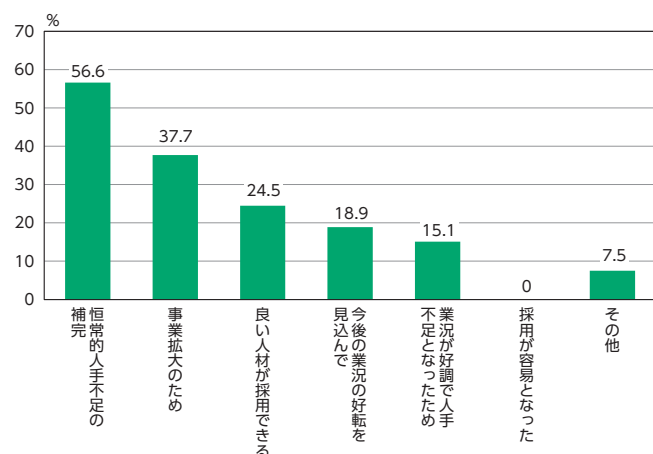
✓ 採用人数が増加した理由

新卒者の採用人数が「増加」した企業において、その理由を尋ねたところ（複数回答）、「恒常的人手不足の補完」が56.6%、「事業拡大のため」37.7%、「良い人材が採用できる」24.5%、「今後の業況の好転を見

少または例年ない企業は「中途採用」で人材を確保

込んで」18.9%、「業況が好調で人手不足となったため」15.1%となった。過半の企業が「恒常的人手不足の補完」を挙げ、新卒者の採用人数が増加した理由として最も多かった。

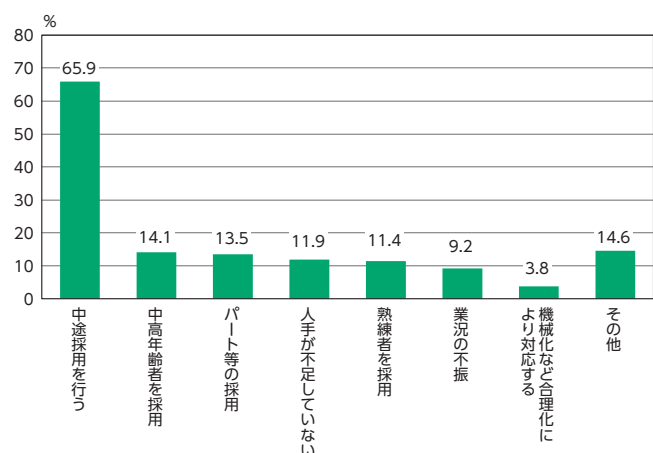
●採用人数が増加した理由(全産業、複数回答)



✓採用人数が減少または例年ない理由

新卒者の採用人数が「減少または例年ない」企業にその理由を尋ねたところ(複数回答)、「中途採用を行う」が65.9%で最も多く、以下「中高年齢者を採用」14.1%、「パート等の採用」13.5%、「人手が不足していない」11.9%、「熟練者を採用」11.4%、「業況の不振」9.2%、「機械化など合理化により対応する」3.8%となった。

●採用人数が減少または例年ない理由(全産業、複数回答)

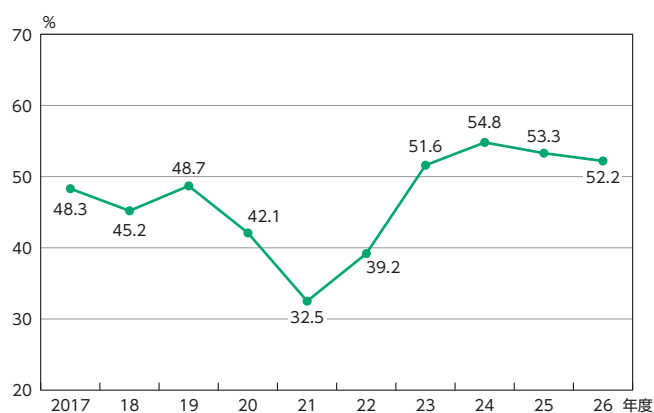


「中途採用を行う」を挙げる企業が約7割を占め、ほかの理由に比べて高い割合となった。人手不足のなか、採用の難しい新卒者に替えて、中途採用を中心とした人材確保を行うところが多い。

✓採用計画に対する実績

新卒者の採用計画に対する実績は「ほぼ計画通り」が47.8%(前年度比+1.2ポイント)、「やや不足」が36.3%(同+2.1ポイント)、「大幅に不足」が15.9%(同▲3.2ポイント)となった。「やや不足」と「大幅に不足」を合わせた『不足』は52.2%となり、半数以上の企業が計画通りの採用人数が確保できなかったとしている。なお、『不足』が50%を超える状況は4年連続となった。

●採用計画に対する実績が「不足」とする企業割合の推移(全産業)



✓来年度の採用計画人数

来年度(2027年4月入社)の新卒者の採用計画人数は、今年度より「増加」18.5%、「変わらない」44.3%、「減少」5.0%、「未定」32.2%となった。現段階では「未定」とするところが約3割あり、不確定な要素もあるものの、「増加」が「減少」を上回り、県内企業の来年度の新卒者の採用はより積極的なものになるとみられる。

(辻 和)

2026年4月実施。対象企業数1,031社、
回答企業数310社、回答率30.1%。